

岩瀬高校だより

令和6年1月号

県立岩瀬高等学校「第3学期始業式」を実施しました。



令和6年1月9日(火)、第3学期始業式と生徒会任命式が本校体育館で行われました。令和6年になり、生徒・教職員ともに、新しい気持ちで新学期を迎えました。

はじめに2学期末に行われた漢字力コンテストでの優秀クラスと優秀者の表彰がありました。

その後には第3学期始業式が行われ、教頭先生のお話がありました。その中で、以前人権メッセージの最優秀賞に選ばれた作品のメッセージが紹介されました。「相手が言葉のナイフを出してきても、自分は言葉の花束で返す。私はどんな時でも言葉の花束を贈りたいと思う」というものです。「言葉は強力なエネルギーを持っており、使い方次第では相手を傷つけてしまいます。皆さんには、万が一相手が言葉のナイフを向けてきても言葉の花束で返すことができるような人間になってほしいです。意識することが大切で、意識することで行動も変わってくるはずで」とお話してくれました。



教頭先生のお話の後には、生徒会任命式が行われました。2学期に行われた生徒会選挙で選出された7名の生徒が、令和6年度の生徒会役員として任命されました。任命式の後に生徒会長の話もありました。1年間、岩瀬高校の生徒会として様々なことに挑戦し、活躍してほしいです。



いよいよ3学期になりました。専攻科2年生は2月に国家試験も控えています。3年生も卒業後の生活に向けて、高校生活のまとめの時期です。1日1日を大切に過ごしていきましょう。1、2年生も1年間のまとめの時期です。1、2学期よかったところはさらに伸ばし、あまりできなかったところは改善して生活してほしいです。どの学年もこの1年で「成長できた」と思えるような、そして次の生活のよい準備期間となる3学期を過ごしましょう。

岩瀬高校だより

令和6年1月号

普通科1年生「職業別体験学習」を実施しました。



令和6年1月22日(月)、普通科1年生が5、6時間目に職業別体験学習を行いました。14校の専門学校の方にご来校いただき、生徒が興味をもった各講座に分かれて模擬講義や体験をしました。生徒たちは自分の選んだ分野の講座を真剣に聞いていました。

開講された講座の中で、「動物の仕事」では、実際に犬と触れ合い、トリマー、ドッグトレーナー、動物看護師の仕事体験をしました。また、「保育の仕事」では、幼稚園や保育園で使われる制作物を作製しました。生徒たちは生き生きと活動していました。

参加した生徒たちからは「いろいろな専門学校のお話を聞いて、将来自分がなりたいものになるためにこれからもっと学習していき、いろいろな知識を身に付けていきたいと感じました」「進路についてもっとよく考えていかなければならないと思いました」「自分の行きたい進路を実現するためには、勉強をしっかりと、欠席・遅刻をしない、テストを頑張る、この3つを今しっかりとやっておかないといけないと思いました」などといった声が聞かれました。



普通科・衛生看護科2年生「マナー講習会」を実施しました。

令和6年1月24日(水)、チャレンジプロジェクトの一環として、普通科・衛生看護科2年生が社会人として求められる資質・能力について学ぶためにマナー講習会を実施しました。午前中はホテルレイクビュー水戸で、テーブルマナーの講習を受けました。多くの生徒がテーブルマナーについて学ぶことが初めてだったため、ためになったようです。午後は学校法人八文字学園の協力で、マナー講習を受講しました。

マナーを守ることは高校卒業後や、社会人になったときに非常に重要になります。今回のマナー講習会で学んだことを今後の生活にぜひ活かしてほしいです。

普通科・衛生看護科3年生「芸術鑑賞会」を実施しました。

令和6年1月26日(金)、普通科・衛生看護科3年生が芸術鑑賞会を行いました。東京都にある江戸川区総合文化センター大ホールに行き、ミュージカル「明日への扉」を鑑賞しました。このミュージカルは骨髄移植や骨髄バンク事業の現実を知った学生の方たちが「私たちにできることは何か」と考え実現したもので、学生の方々自ら企画・制作・出演をしているそうです。

観劇した生徒たちは生きることの素晴らしさについて考えるきっかけになったのではないかと思います。また、ミュージカルの鑑賞が初めてだった生徒もいましたが、芸術の奥深さやすごさを体感した、生徒たちの心に残る芸術鑑賞会になったようです。今後も積極的に芸術に触れてほしいと思います。